

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 解答時間は **1 時間**です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	機 械		

指示があるまで中を開いてはいけません。

近年、ドローン(無人航空機)技術は、幅広い分野、様々な場面での活用が期待され進展している。政府が立ち上げた「小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会」において、2022年8月に「空の産業革命に向けたロードマップ 2022」が取りまとめられ、レベル4飛行を段階的に人口密度の高いエリアへ拡大する取組が示される等、労働力不足への対応や業務効率化など、ドローンがより効果的に社会に貢献する未来を実現することが期待されている。

このことを踏まえ、以下の設問に答えよ。

- (1) ドローンを活用できる具体的な分野／用途を一つ挙げ、その活用法とドローンを用いることの利点について説明せよ。
- (2) ドローンに関する課題を挙げ、その解決策について説明せよ。